

カーボンレポート

東京都低炭素ビル実績表示

この書面は、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づく「地球温暖化対策報告書」(都内の中小規模事業所を対象)により東京都に報告したCO₂排出量の実績等を、地球温暖化対策指針に基づいて表示するものです。

No.A1077-0462

報告書提出
事業者名

三井住友信託銀行株式会社

事業所名

六番町ビル

住所

東京都千代田区六番町6-28



実績年度	年間CO ₂ 排出量	延床面積	CO ₂ 排出原単位 (延床面積当たりの年間CO ₂ 排出量)	主たる用途
2012 年	307 t	9339.42 m ²	32.6 kg-CO ₂ /m ²	事務所

ベンチマーク区分:テナントビル(オフィス系、中規模)

A4

A3

A2

A1

B2

B1

C

A4

平均値

ベンチマーク レンジ	CO ₂ 排出原単位 (kg-CO ₂ /m ²)の範囲	
A4	～	32.9
A3+	32.9	～ 35.9
A3	35.9	～ 38.9
A3-	38.9	～ 41.8
A2+	41.8	～ 44.8
A2	44.8	～ 47.8
A2-	47.8	～ 50.8
A1+	50.8	～ 53.8
A1	53.8	～ 56.8
A1-	56.8	～ 59.7
B2+	59.7	～ 62.7
B2	62.7	～ 65.7
B2-	65.7	～ 68.7
B1	68.7	～ 89.6
C	89.6	～

※ベンチマークは、都内の中小規模事業所のCO₂排出水準(CO₂排出原単位的水準)を15段階で示す指標です。(詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)を参照)

※CO₂排出水準は、ビル側の地球温暖化の対策の推進状況だけでなく、ビルの稼働状況や入居者の取組等の影響を含むものです。

※本書面の記載内容は、第三者の検証を受けたものとは限りません。また、報告書提出事業者の事業所範囲についての内容であるため、区分所有等の場合、基本的にビル全体の内容と一致しません。共有の場合は、持分割合に応じたものとなっています。

◆ 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策	その他対策
	対策名	対策名
組 織 体 制 の 整 備	具体的な取組目標と内容の設定	使用量に応じた料金体系等の採用
	テナントにエネルギー使用量提供	
エ ネ ル ギ ー 等 の 使 用 状 況 の 把 握	関連他者からの情報を加えて把握	時間的に詳細に把握
		主要設備の使用状況の把握
運 用 対 策	共用部照明のフロアごとの管理	照明スイッチに点灯範囲を表示
	フロア共用部の温度の把握・設定	空調機スイッチに空調範囲を表示
	共用部のフロアごとの空調の管理	階段照明の管理手法の検討・実施
設 備 保 守 対 策	空調フィルターの清掃・点検	換気フィルターの清掃・点検
設 備 導 入 対 策	高効率パッケージの採用	全熱交換器の導入
		節水器具の採用

上記は、本事業所が実績年度に実施した対策です。

◆ 補足説明(自由記入)

六番町ビルでは、空調システムの全館更新(2005年)や(モデルビル公表内容の抜粋を記入してありますので追記・修正をお願いします。)照明LED化(2013年)等の高効率な設備改修を積極的に実施しています。また、小さな改修工事でも省エネ効率に着目し、テナントの意見を取り入れて行っています。これらの取組に加え、空調温度や使用状況をデマンドコントロールで制御することで年間稼働率100%ですが前年比で毎年CO2排出量の削減を達成しています。テナントにおいても、照明、空調、水道、温度管理について、社員の積極的な省エネ対策を実施しています。

◆ 注記

ビルのCO2排出原単位(延床面積当りの年間CO2排出量)は、ビルの断熱性能、設備・機器のエネルギー効率及び運用・保守管理状況を、総合的に示すビルの省エネルギー指標です。東京都が提供するベンチマークは、中小ビルのCO2排出原単位の平均値を用途別・規模別に示しており、その平均値から個々のビルのCO2排出原単位がどの程度離れているかをみることで、当該ビルの低炭素レベル(省エネ性能)を評価することができます。

なお、ビルのCO2排出原単位は、空室率、駐車場や電算室の有無、稼働時間、入居テナントの種類や入居テナントのエネルギーの使い方等によっても影響を受けます。ベンチマークは、こうした様々な要因も含まれた平均値を示していますが、省エネの取組以外の要因が著しく大きい等の場合、評価者は、これらの要因がどの程度、CO2排出原単位に影響を与えているかを考慮する必要があります。詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)をご参照ください。